

【ご挨拶】 糖尿病・甲状腺疾患・高血圧症などに関する知識とお知らせを新聞にして皆様に配布しています。皆様の病状が好転いたしますことを、心より願っております。

院長 則武 昌之

Vo.23 2005年3月号

今月の特集

うつ病のサインを見逃すな

【うつ病が増えている】

うつ病にかかる人の数が増えています。「心の風邪」といわれるようにうつ病は誰でもかかりうる病気ですが、軽く考えてはいけません。うつ病は非常に苦痛を伴うにもかかわらず治療を受けている人は患者の3割程度といわれています。

人は誰でも日常生活上のストレスで落ち込んだり、元気をなくすことがあります。しかしたいいの場合には数日のうちに回復してまた元気になるものです。それがとくに身体的原因がないのに2週間以上にわたってやる気が起きなかったり、憂鬱感や興味・関心の低下が持続するというケースではうつ病が疑われます。

【こんな人がうつ病にかかりやすい】

うつ病は几帳面で責任感が強く、何事にも手を抜かないまじめな人がかかりやすいといわれています。これらの人は多くのストレスを貯めやすい傾向があるからです。ストレスとなる生活体験は様々で（職場の人間関係、仕事、家庭内の不和、借金、肉親の死別、体の病気、転居や出産など）周囲から見れば喜ばしい出来事もありますが、それでさえ「一層頑張らなければ！」と精神的なプレッシャーを感じてしまうようです。

【うつ病の症状】

うつ病の症状は非常に多様で、人によって様々な症状が現れます。はじめは心の症状〔憂鬱など気分の低下、意欲の低下、不安や焦燥など〕よりも身体の症状（不眠、めまい、倦怠感、食欲不振など）が強く出ることが多いとされています。心の不調に伴うこれらの症状がなかなか病気とは認識されずに本人も周囲の人も病状が悪化しないと気づかないことが多いといわれています。うつ病はその兆候を見逃さずに早めに適切な治療を受ければ必ず治る病気だと理解することが大切です。心当たりがある方は診察のときにお話ください。

【うつ病の治療】

うつ病治療は薬物療法と十分な休息をとることが基本です。なるべく早期に専門的な治療を受けることが大切です。最近では、効き目が優れていて副作用も少ない抗うつ薬が開発されているので安心して服用してください。



糖尿病の膵島移植について

生体膵島移植を受けた患者がほぼ完治

京都大学病院で今年の1月19日に世界初の生体膵島移植を受けた20代の1型糖尿病女性患者がほぼ完治し、2月中に退院となることが2月23日に同病院から発表されました。

インスリンは膵臓から分泌されます。インスリン分泌が廃絶した1型糖尿病患者に対して膵臓をそのままの形で移植するのではなく、膵島細胞*だけを分離してそれを移植しました。今までは亡くなった方の膵臓を使って行っていましたが、今回世界で始めてこの患者さんの母親（50歳代）の膵臓の一部を摘出して膵島細胞を分離し患者に移植しました。

移植した膵島が生着しインスリンを分泌しているため、インスリン注射を中止しても患者は食事制限はあるものの健康な人とほぼ変わらない生活ができるようになったと報告されています。母親も2月6日に退院したとのこと。

まだこれが一般的な1型糖尿病の治療として定着するには時間がかかるかもしれませんが、1型糖尿病患者さんに対する治療法として画期的な治療法が徐々に確立されてきつつあるという実感を与えてくれるニュースです。

*インスリンやグルカゴンなどの膵臓のなかでホルモンを作っている細胞。膵臓には大きく分けて2種類の細胞があり、一つはたんぱく質などを消化する膵液を作っているもの〔外分泌部〕です。もう一つがインスリンなどのホルモンを作っているもの〔内分泌部〕で膵島細胞とも呼ばれます。

休診のお知らせ

まことに勝手ながら

☆4/1（金）の午前の診療を休診とさせていただきます。

☆5/13（金）・5/14（土）は日本糖尿病学会に参加のため

午前・午後とも診療を休診とさせていただきます。

ご迷惑をおかけしますがよろしくご了承ください。

発行日：2005年3月1日

〒300-1207

発行責任者：

茨城県牛久市ひたち野東48-2

医療法人社団 憩樹会

ひたち野うしく池田ビル1階

則武内科クリニック 院長 則武 昌之

TEL：029-871-7878

【ロゴの紹介】ノリタケの「N」と院長の趣味である鱒釣りの「鱒」を入れてあります。

よく見ると背ビレと尾ビレの間にアブラビレというヒレがあるのがおわかりになりますか？これが鱒（鮭、山女魚、岩魚、虹鱒、樺太鱒、桜鱒、姫鱒、イトウなど）の特徴です。